令和元年度　今井小学校「豊かな心の育成」推進プラン

中期学校経営方針・「豊かな心」達成目標

道徳・特活の時間はもとより、各教科・領域の授業、学校での全教育活動において、友達とかかわり合う場面を重視して、自他を大切にする心情や態度を育てていきます。

児童の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

比較的、落ち着いて穏やかに生活している。地域からの協力も得られ、人とのかかわりをもてる機会が多い。いろいろな活動に積極的に取り組もうする意欲はあるが活動の過程で状況把握、何が課題でどのように問題解決していくのか、話し合いでのよりよい決定の仕方などに課題がある。自分の思いをわかりやすく相手に伝えることが苦手なために、言葉でのコミュニケーションがうまくいかなくて、トラブルになってしまう場面もある。

「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

〇コミュニケーション能力、自主的、実践的な力を高めるために、学級活動の充実を図る。

〇学級活動の時間だけでなく、委員会活動・係活動の日常的な活動の充実を図る。

〇たてわり活動でのねらいを明確にし、計画的にすることで、自主的、思いやりの心を育てる。

〇家庭や地域の連携を図り、多くの人とかかわることでコミュニケーション力を高める。

指針１「道徳の時間」の充実（「豊かな心の育成」推進プログラム【視点１】）

・保護者に向けて、全学級が年一回は授業公開をする。

・道徳教育の要となる道徳の時間の指導を通して、子どもが道徳的見方、考え方、感じ方を多様に広げ、自己を深く見つめ、よりよく生きようとする道徳的実践力を身に付けられるようにする。

指針２　体験活動の充実（「豊かな心の育成」推進プログラム【視点３】）

・６年生がリーダーとなってたてわり活動を行い、高学年のリーダーとしての意識、グループ内で互いを思いやる気持ち、協力しようとする気持ちを育てる。

・学級・学年・学校での集会活動などを大切にしながら、いろいろな友達とかかわり合いながら、みんなで活動を作り上げようとする子どもをめざす。

・委員会活動、係活動の日常的な活動の充実をめざす。